

平成 25 年度座談会「町長と語ろうまちづくり」(清水地区)

開催日時	平成 25 年 7 月 26 日 (金) 午後 7 時から午後 9 時	天気 晴れ
場 所	清水ふれあいセンター	
町民参加者	男 35 人 女 7 人 (40 代以下 1 人、50 代 7 人、60 代以上 34 人)	
町出席者	町長、副町長、教育長、企画財政課長、政策秘書課長、総務防災課長、環境農林課長、学校教育課長、事務局 2 人	

出席者から出された主な意見や提案

《テーマ：第 5 次総合計画》

○人口フレームが 11,000 人と出されているが現在の 11,700 人を減らさないための算段をしていただきたい。

○第 5 次総合計画について、これから 5~10 年の間に施設の立て直しなどの大きなプロジェクトはあるのか。

《テーマ：新東名》

○スマート IC 設置計画には休憩所や簡単な売店などの施設を作る計画はあるのか。

○町のスマート IC 計画は、当初と考え方は変わっていないか確認したい。

《テーマ：有害鳥獣対策》

○農作物の鳥獣被害について、今年は非常に被害が大きく、猿が群れでやってきて食べてしまう。

○鳥獣被害について何を植えても鹿に食べられてしまう。また、猿については諸淵や谷ヶ地区にも出没するが花火による追い払いは効果が無い。他市では、猟友会の方がゴムかプラスチックのような弾を使って撃っていると聞いたが、この地域では認められないか。

《テーマ：統合中学校対策及び跡地利用》

○中学校統廃合に伴いスクールバスの運行が行われ費用もだいぶかかっていると聞いているが、スクールバスは町の約束事項であるので、継続していただくことを確約していただきたい。

○中学校跡地については清水地区住民の意見を十分に反映して、有効な跡地利用をしていただきたい。

○学校跡地施設等の利活用については、検討会そのものが独り歩きしないようにしてほしい。

《テーマ：その他》

- 大野山牧場について、県では財政難の理由から再来年に閉鎖するという話を聞いているが、今後どのように対応していくのか。
- 仮称塩沢橋付近の道路両側にキャンプ客がぎっしり駐車してしまう。最近は大きなキャンピングカーが駐車していることも多く、他の車が通れずトラブルが起きている。
- 清水橋から用沢までの歩道の花壇に、地域の方が花を植えたり草取りをしたりしている。しかし、その前後の歩道の草がひどく、道の駅で苦情を言われることもある。
- 仮称塩沢橋付近は、今年は工事の影響でキャンプ客が例年よりは少ないが、相変わらずゴミが放置されている。このゴミは誰が片付けるべきなのか。
- 現在ゴミ袋に名前を書いて出しているが、すでに10年以上も経って分別回収が定着してきたことや、個人情報保護の点もあると思うが、町はどう考えているか。
- 山北町自治基本条例第8条「自治会等まちづくり」では、町民に対してどういう啓発をしているのか。第21条「まちづくりへの子どもの参加」及び第22条「まちづくりへの高齢者の参加」では、どのような内容を指し、どのような対策をとっているのか。
- 山北町自治基本条例を推進するなら、町民に何をしてもらいたいのかを個々に出さなければ絵に書いた餅になってしまうのではないかと懸念している。